

「魔改造」で新人研修

3Dプリンターを使った製造受注などを手がけるSOLIZEパートナーズ（東京・千代田）がNHK番組「魔改造の夜」を題材にした新人研修を実施している。目指すのは目標実現のためにチームを率いる若き技術者リーダーの育成だ。

4月下旬、神奈川県大和市にあるSOLIZEの事務所に今春入社した新入社員が集められた。2025年に始めた「魔改造新人研修」だ。

SOLIZEは21年に魔改造の夜に出演した。この番組はメーカーのエンジニアが市販の家電や子供用のおもちゃなどを改造し、各種競技で競い合う。SOLIZEは市販の扇風機を改造して50cmの距離を素早く移動する競技と、赤ちゃんの形を改造して高さ8cmの綱を速く登る競技に挑ん

製造受託のSOLIZE 技術リーダー育成



「魔改造」でSOLIZEが開発した製品を手取る新入社員の加藤さん（神奈川県大和市）

だ。研修では実際の放送を視聴した後、新入社員が感想を話し合った。「勝ちこたわる姿勢は大事だったよね」「戦い方に各社の個性が出ていた気がする」。自分が参加時

のリーダーならどう戦うかを考えた。野心的ではあるが決してチームが諦めるほど無謀ではない目標タイムの設定、他社の戦略分析の大切さ、「企画を通じて技術者が自信をつけてほしい」というゴールの設定――。魔改造から学んだ知恵を語った。

「自らゴールを決める大切さを学んでほしい。井上社長は研修の意図をこう話す。

SOLIZEは自動車業界などに向け、エンジニアを派遣したり業務を請け負ったりする事業を手がけている。派遣先で長期的なキャリアを描くのは難しいため、自ら考えたゴールを実現できる人物となることが重要だという。

「エンジンニアに単調なイメージも持っていたが、少し変わった」。新入社員に加藤真結花さんは受講後に話した。元々魔改造ファンなこともあり、技術者の思いを知れる機会は貴重だったという。

魔改造にはトヨタ自動車やホンダなど自動車大手も出演する。スズキの鈴木俊宏社長は24年の技術説明会の冒頭、同番組で電動マッサージ器などの改造に臨んだ社員を「（同社の）行動理念『少・軽・短・美』を体現した」とたたえた。

自動車業界で人手不足が続く新入社員の早期離職も問題となるなか、ユニークな新人研修はますます広がりそうだ。

（太田聖哉）